

標津の未来を考えよう

～標津のPR表示をプログラミングし、多くの人に分かりやすく伝えよう～

この授業では、標津町の魅力を伝えるタッチパネル式のPR表示を作成することを通して、調査して得た情報を基に考え、表現する力を育みます。その手段としてScratchを使用し、多くの人に伝えるために、表示方法、表示の順番、アイコンの大きさなどを工夫しながらプログラムを改善・修正していくことで、プログラミング的思考を育めるよう授業を構成しています。

導入

◆ どのようなPR表示を作るのか見通しをもつ

- ・自分たちが住む標津町の魅力を多くの人に知ってもらうために、タッチパネル式のPR表示を作成することを確認する。
- ・プログラミング言語「Scratch」の使い方を確認する。

展開1

◆ 標津町の魅力を調べ、まとめる

- ・グループに分かれ、インターネットで調べたり、地域の人に取材したりして、標津町の魅力の理解を深める。
- ・グループに分かれ、樹形図を使って調査したことを分類し、伝えるべき中心となる魅力について考え、パワーポイントにまとめ、発表・交流する。

展開2

◆ PR表示を作成し、地域の人から感想をいただく

- ・構想図をもとに、グループで話し合う活動を通してまとめた画像をScratchでプログラミングする。
- ・地域の商店や役場にタブレットを設置し、PR表示を使用した人から感想をいただく。

まとめ

◆ 自分たちが作成したPR表示を振り返る

- ・PR表示を使用した人の感想をもとに、自分たちのPR表示が、標津町の魅力を伝えられていたかを振り返る。

授業の様子・留意点



- ・標津の魅力についてマインドマップで意見を出し合っ、イメージを広げる。



- ・調べたことをもとに、タッチパネルの構想図を作成する。



- ・構想図をもとに、標津町の魅力を伝えるという目的に立ち返りながら、相手に伝わりやすいようにPR表示のプログラミングを考える。